

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年3月24日(2025.3.24)

【公開番号】特開2023-151768(P2023-151768A)

【公開日】令和5年10月16日(2023.10.16)

【年通号数】公開公報(特許)2023-194

【出願番号】特願2022-61572(P2022-61572)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月13日(2025.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技制御手段と、
演出実行手段と、
保留記憶手段と、を備え、

前記保留記憶手段は、始動入賞が発生したことにもとづいて、所定数を上限として可変表示に関する情報を保留記憶として記憶することが可能であり、

前記遊技制御手段は、可変表示が終了したときに、次の可変表示に対応する保留記憶がある場合に次の可変表示を実行可能であり、

30

前記演出実行手段は、

第1モードと、該第1モードとは異なる第2モードと、を含む複数のモードにおいて複数の演出を実行可能であり、

始動入賞が発生した場合、第1入賞時演出を実行可能であり、

始動入賞が発生した場合、第2入賞時演出を実行可能であり、

前記所定数未満の保留記憶が記憶されている状況において、

前記第1モード中であり、第1タイミングで始動入賞が発生した場合、第1モード保留表示を第1モード開始態様で表示開始し、第1モード途中態様に変化させた後に第1モード完了態様に変化させて表示可能であり、

前記第2モード中であり、前記第1タイミングで始動入賞が発生した場合、第2モード保留表示を第2モード開始態様で表示開始し、第2モード途中態様に変化させた後に第2モード完了態様に変化させて表示可能であり、

40

前記第1モード中であり、前記第1タイミングより後の第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第1モード保留表示を前記第1モード開始態様で表示開始し、前記第1モード途中態様に変化させ、次の可変表示が開始されることに基づいて前記第1モード完了態様に変化させて表示可能であり、

前記第2モード中であり、前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード保留表示を前記第2モード開始態様で表示開始し、前記第2モード途中態様に変化させ、次の可変表示が開始されることに基づいて前記第2モード完了態様に変化させて表示可能であり、

50

前記第1モード中であり、前記第2タイミングより後の第3タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第1モード保留表示を前記第1モード開始態様及び前記第1モード途中態様で表示することなく前記第1モード完了態様で表示可能であり、

前記第2モード中であり、前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード保留表示を前記第2モード開始態様及び前記第2モード途中態様で表示することなく前記第2モード完了態様で表示可能であり、

前記第1モード中であり前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード中であり前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第1モード中であり前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード中であり前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、のいずれの場合であっても、前記第1入賞時演出を第1期間に亘って実行可能であり、

10

前記第1モード中であり前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード中であり前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第1モード中であり前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード中であり前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、のいずれの場合であっても、前記第2入賞時演出を第2期間に亘って実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の請求項1に記載の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技制御手段と、

演出実行手段と、

保留記憶手段と、を備え、

前記保留記憶手段は、始動入賞が発生したことにもとづいて、所定数を上限として可変表示に関する情報を保留記憶として記憶することが可能であり、

30

前記遊技制御手段は、可変表示が終了したときに、次の可変表示に対応する保留記憶がある場合に次の可変表示を実行可能であり、

前記演出実行手段は、

第1モードと、該第1モードとは異なる第2モードと、を含む複数のモードにおいて複数の演出を実行可能であり、

始動入賞が発生した場合、第1入賞時演出を実行可能であり、

始動入賞が発生した場合、第2入賞時演出を実行可能であり、

前記所定数未満の保留記憶が記憶されている状況において、

前記第1モード中であり、第1タイミングで始動入賞が発生した場合、第1モード保留表示を第1モード開始態様で表示開始し、第1モード途中態様に変化させた後に第1モード完了態様に変化させて表示可能であり、

40

前記第2モード中であり、前記第1タイミングで始動入賞が発生した場合、第2モード保留表示を第2モード開始態様で表示開始し、第2モード途中態様に変化させた後に第2モード完了態様に変化させて表示可能であり、

前記第1モード中であり、前記第1タイミングより後の第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第1モード保留表示を前記第1モード開始態様で表示開始し、前記第1モード途中態様に変化させ、次の可変表示が開始されることに基づいて前記第1モード完了態様に変化させて表示可能であり、

前記第2モード中であり、前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード保留表示を前記第2モード開始態様で表示開始し、前記第2モード途中態様に変化させ

50

、次の可変表示が開始されることに基づいて前記第2モード完了態様に変化させて表示可能であり、

前記第1モード中であり、前記第2タイミングより後の第3タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第1モード保留表示を前記第1モード開始態様及び前記第1モード途中態様で表示することなく前記第1モード完了態様で表示可能であり、

前記第2モード中であり、前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード保留表示を前記第2モード開始態様及び前記第2モード途中態様で表示することなく前記第2モード完了態様で表示可能であり、

前記第1モード中であり前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード中であり前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第1モード中であり前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード中であり前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、のいずれの場合であっても、前記第1入賞時演出を第1期間に亘って実行可能であり、

前記第1モード中であり前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード中であり前記第2タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第1モード中であり前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、前記第2モード中であり前記第3タイミングで始動入賞が発生した場合、のいずれの場合であっても、前記第2入賞時演出を第2期間に亘って実行可能である、

ことを特徴としている。

10

20

30

40

50